

DEEP INSIGHT[®]

ディープ・インサイト

DEEP INSIGHT®

ディープ・インサイト

広める価値ある投資情報

私たちを取り巻く相場環境が
年々複雑化する中、
高度な資産運用の必要性が高まっています。

「広める価値ある投資情報」をコンセプトに、
ファンドマネージャー経験者や
ストラテジストなどで構成される
ピクテのDEEP INSIGHTチームは、
運用者の視点で厳選した情報を
発信しています。

資産運用をサポートするプロフェッショナル



萩野 琢英 Takuhide Hagino _____ 5

代表取締役社長

資産運用業界展望 | グローバル経済 | 市場全般



市川 眞一 Shinichi Ichikawa _____ 7

シニア・フェロー

国内外の政治情勢 | 金融政策 | 市場全般



糸島 孝俊 Takatoshi Iroshima _____ 9

ストラテジスト

日本株をはじめとするグローバル株式市場



松元 浩 Hiroshi Matsumoto _____ 11

グローバル資産運用部長

グローバル経済 | 市場全般 |
金融政策 | アセット・アロケーション戦略



塚本 卓治 Takuji Tsukamoto _____ 13

投資戦略部長

世界の投資環境 | テーマ株式投資



田中 純平 Jumpei Tanaka _____ 15

ストラテジスト

米国株をはじめとするグローバル株式市場



梅澤 利文 Toshifumi Umezawa _____ 17

ストラテジスト

グローバル経済 | 国際金融 |
グローバル債券 | 為替



石原 豪 Takeshi Ishihara _____ 19

運用商品本部副本部長

グローバル経済 | グローバル債券 |
アセット・アロケーション戦略



野中 靖 Yasushi Nonaka _____ 21

投資情報部長

グローバル株式市場全般

萩野 琢英

Takuhide Hagino

代表取締役社長



日系証券にてアナリスト業務を経てロンドン・ニューヨーク現地法人勤務を経験。

2000年にピクテ入社、投信業務、投資顧問業務、商品開発、マーケティング業務に携わる。2007年からはマネージング・ダイレクターとして、グループ本社（ジュネーブ）にて商品開発、運営業務に従事。帰国後、2011年12月に日本法人の代表取締役社長に就任。ピクテ・グループ・エクイティ・パートナー。

日本証券アナリスト協会検定会会員(CMA)

著書に「改訂版 210余年の歴史が生んだ ピクテ式投資セオリー」。

市川 眞一

Shinichi Ichikawa

シニア・フェロー



日系証券の系列投信会社でファンドマネージャーなどを経て、1994年以降、フランス系、スイス系2つの証券にてストラテジスト。この間、内閣官房構造改革特区評価委員、規制・制度改革推進委員会委員、行政刷新会議事業仕分け評価者など公職を多数歴任。

著書に『政策論争のデタラメ』、『中国のジレンマ 日米のリスク』（いずれも新潮社）、『あなたはアベノミクスで幸せになれるか?』（日本経済新聞出版社）など。

2011年6月よりテレビ東京『ワールドビジネスサテライト（WBS）』レギュラー・コメンテーター。

糸島 孝俊

Takatoshi Itoshima

ストラテジスト



証券系シンクタンクの企業調査アナリストを経て、日系大手運用会社にて投資顧問や投資信託の資金を国内株式中心に運用。その後、ヘッジファンドや独立系運用会社でもアクティブ・ファンドマネージャーとして従事。運用経験通算21年。最優秀ファンド賞3回・優秀ファンド賞2回の受賞歴を誇る日本株式ファンドの運用経験を持つ。

ピクテでは、ストラテジストとして得意とする国内株式を中心に主要国のエクイティ・マーケットまでカバー。

日本証券アナリスト協会検定会員（CMA）、国際公認投資アナリスト（CIIA）、国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリスト（CFTe）

松元 浩

Hiroshi Matsumoto

グローバル資産運用部長



日系信託銀行でグローバル債券運用担当を経て、外資系運用会社にてアセット・アロケーション戦略に従事。

ピクテでは、グローバル資産運用部長としてアセット・アロケーション・ファンドの運用を行う。ピクテ・グループ全体のハウス・ビューを策定するピクテ・ストラテジー・ユニット (PSU) メンバー。

シカゴ大学 MBA、日本証券アナリスト協会検定会員 (CMA)

塚本 卓治

Takuji Tsukamoto

投資戦略部長



日系証券会社にて債券およびデリバティブ業務に従事した後、外資系運用会社および日系ファンド・リサーチ会社にて投資信託のマーケティングを担う。通算20年以上にわたり運用業界で世界の投資環境を解説。

ピクテではプロダクト・マーケティング部長等を経て、現職。経験豊富なストラテジストが揃う投資戦略部を統括する傍ら、自らも全国の金融機関や投資家を対象に講演を行う。

マサチューセッツ工科大学(経営学修士)、日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)、日本テクニカルアナリスト協会認定テクニカルアナリスト

田中 純平

Jumpei Tanaka

ストラテジスト



日系運用会社に入社後、14年間一貫して外国株式の運用・調査に携わる。主に先進国株式を対象としたアクティブ・ファンドの運用を担当し、北米株式部門でリッパー・ファンド・アワードを受賞。アメリカ現地法人駐在時は中南米株式ファンドを担当し、新興国株式にも精通。

ピクテ入社後は、ストラテジストとして主に世界株式市場を分析。ピクテ・グループ全体のハウス・ビューを策定するピクテ・ストラテジー・ユニット (PSU) にも参加し、レポートや動画、セミナーやメディアなどを通じて投資家への情報提供に努める。

日本証券アナリスト協会検定会員 (CMA)

梅澤 利文

Toshifumi Umezawa

ストラテジスト



日系証券会社のシステム開発部門を経て、外資系運用会社で債券運用、仕組債の組み入れと評価、オルタナティブ投資等を担当。運用経験通算15年超。ピクテでは、ストラテジストとして高度な分析と海外投資部門との連携による投資戦略情報に基づき、マクロ経済、金融市場を中心とした幅広い分野で情報提供を行っている。経済レポート「今日のヘッドライン」を執筆、日々配信中。

CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会
検定会員(CMA)

石原 豪

Takeshi Ishihara

運用商品本部副本部長



外資系証券会社等を経て、外資系運用会社にて運用モデルの開発を手掛けるとともに、公的年金・公的資金および企業年金向け国内および外国債券運用に従事。同社では債券運用チームヘッドとして運用業務を統括。その後、外資系証券会社において、プロダクト・スペシャリストとして債券運用商品全般を担当。20年以上にわたり債券運用ならびに債券関連業務に従事。

ピクテでは運用商品本部副本部長として海外運用部門と連携し、運用商品の開発・管理および顧客対応に従事。

マコーリー大学(応用ファイナンス修士)、日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)

野中 靖

Yasushi Nonaka

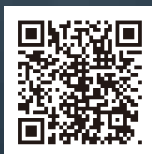
投資情報部長



日系信託銀行にて主に企業年金向け日本株の調査・運用、およびグローバル債券の運用を担当した後、米国大手運用会社にて株式運用・調査の研修を経て、主に企業年金向けの米国株式担当ファンドマネージャーとして、ニューヨーク現地法人に勤務。帰国後は日本株調査部門のヘッドとしてチームを統括。

ピクテでは日本株の調査・運用を担当するシニア・ポートフォリオ・マネージャーを経て、現在はファンドやマーケットの情報発信を担う投資情報部を統括。

日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)、CFA協会認定証券アナリスト



パソコン・スマートフォンからいつでもアクセスできます

<https://www.pictet.co.jp/Individual/GeneralDetail/deepinsight>

当資料をご利用にあたっての注意事項等

当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。／運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。／当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。／当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。／投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。／投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。／当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

ピクテ投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第380号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会